

～市長ビジョン等の取組状況～

7つの前進ビジョン			
通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和3年度
1	心のバリアフリー。弱者が弱者でなくなる福祉を実現。	障害のある人も普通に働く世の中を。活動・就労促進を援助します。高齢者こそICT導入。家にいながら買い物・各種申請、遠隔医療など応援も。	●住民票や戸籍の附票等を普段利用するコンビニでも取得出来るよう、環境を構築。 ●就労・生活総合支援コーディネーターを障害者福祉センターに配置し、延べ547人に相談・支援を行い、一般就労へ20人移行。 ●障害者自立支援協議会・就労部会において福祉的就労説明会、事業所紹介動画を作成、公開。 ●障害者差別解消法改正に合わせて、パンフレットの見直しを実施。 ●障害者差別解消法講演会や職員研修の開催、広報にっしん、デジタルサイネージを通じて、障害者差別解消法の趣旨やヘルプマークの理解促進を行った。 ●地域福祉課及び障害者相談支援センター窓口にて、ヘルプカード・ヘルプマーク（230セット）を配布。 ●要援護者の避難所生活支援者向けサポートブックの周知。 ●コミュニケーション支援ボード（買い物編）の見直しを実施。 ●NPO法人が開催する高齢者向けパソコン教室の周知について協力し、延47人が受講。 ●新型コロナウイルス感染症によるストレスへの対処法をテーマにこころの健康講座を実施。 ●広報に心の健康に関する記事を掲載。 ●生涯現役就労サポートセンターと連携して、55歳以上の継続雇用や再就職等を希望する方に対して、国家資格キャリアコンサルタントによる出張相談を実施。 ●聴覚障害のある方と円滑にコミュニケーションが図れるよう、スマートフォンアプリを導入。
2	子育て・教育に関わる皆さんを支援。	保育園の新設・トイレ等改修&小中学校の改修を前進。障がいのある児童を学習面でも支援。医療費助成は「高校生まで」拡充を検討し、県との調整を図ります。 【待機児童「0」ゼロ！】 【高校生医療費「0」ゼロ！】	●令和3年4月から子ども医療費助成の対象範囲を拡大し、18歳到達年度末までの入院費も無償化。 ●公立保育園（6園）のトイレ改修を行った。 ●西部保育園のGHP（ガスヒートポンプ）を始め公立保育園（6園）の老朽化した空調機器の更新工事を行った。 ●保育業務支援システムを導入し、無線環境整備工事を行った。 ●子育て世代包括支援センターにおける利用者支援事業を継続して実施。 ●東小学校敷地内に放課後子ども総合プランの施設を建設し、提供量を拡充。 ●小中学校の飛散防止フィルムの設置（5校）、外壁改修工事（1校）、消防設備改修工事（7校）空調改修工事（3校）、クラス増に伴う教室改修（6校）を実施。 ●引き続き特別支援教育指導員を配置し、就学相談等を専門に行うことで、特別支援教育の充実を図った。 ●特別支援教育に係る人員を適切に配置（学級支援介助員・特別支援学級講師・特別支援教育コーディネーター後補充講師の配置）。
3	くるりんばす『倍増計画』に着手！	ルート改編計画の前倒しに直ちに取りかかります。地区「ミニくるりん」運行実験、車輛長寿命化などを研究。手段を駆使して「出かけたくなるバス」に变身！ 【くるりんばす「倍増」！】	●くるりんばすを1台更新。 ●くるりんばすの路線を部分改正。 ●次期路線再編に向けた地域公共交通計画を策定。 ●デマンド型交通等新たな移動手段の導入に向けた検討を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

4	『防犯カメラ5倍増』渾身の力で安心・安全・快適！	LED防犯灯・カーブミラー・信号矢印・カラー塗装道路の増設、住宅地・通学路を往来する車の減速策、道路・交通網の整備拡大、計画道路の推進、渋滞解消まで全力投球！ 【防犯カメラ「5倍増」！】	●防犯灯を53基設置。 ●防犯カメラを主要幹線道路等（6台）に設置。区が設置する防犯カメラについて、5地区に設置費補助（計10台）、2地区に修繕費補助（2台）を行った。 ●カーブミラーを2本設置。 ●市内道路にカラー塗装を15箇所、区画線を約1,600m設置。 ●市内道路の整備及び維持管理を行った。 ●野方三ツ池公園線整備に必要な用地買収と物件補償を行った。 ●公立保育園（3園）に防犯カメラ11台を増設。 ●日進中学校区内の路肩や交差点のカラー舗装を実施。 ●日進北中学校区内の交通安全対策に係る実施計画を策定。
5	元気な100歳100人のまちへ。一生涯働ける高齢者を。	生きがいを持って暮らせるよう高齢者を支援します。「あなたの経験/能力/技を使わにや損！高齢者も稼ぐ」雇用・ボランティア拡大。 【元気な100歳100人！】	●シルバー人材センターへの支援（補助）を実施。 ●介護支援ボランティア事業で91人が活動し、ポイントを393ポイント交付。 ●生活支援サポーター養成講座を実施し、19人に修了証を交付。 ●福祉有償運送ドライバー養成講座を実施し、7人に修了証を交付。 ●高齢者移動支援推進事業のボランティアドライバー養成講座（安全運転講習）を実施し、16人に修了証を交付。市内8箇所で開催している高齢者移動支援モデル事業実施地区においてドライバーとして活躍中。 ●生涯現役就労サポートセンターと連携して、55歳以上の継続雇用や再就職等を希望する方に対して、国家資格キャリアコンサルタントによる出張相談を実施。
6	企業誘致・投資促進、広告収入の拡大で財源増。	自らセールスマネージャーとなって「日進市」を売りこみ益す。何を進めるにも財源あってこそ。税収を上げることに必死になります！ 【法人市民税収入「3倍増」！】	●有料広告掲載提案募集制度により、空家対策啓発チラシの協働発行、くるりんバス車内電子案内板の設置等を実施。 ●募集時期の検討や導入事例を周知し、事業者等が新たな提案をしやすい状況を整備。また、本市に広告事業の実績が無い広告代理店等に、募集案内を実施。 ●広報紙裏表紙への広告掲載、公式ホームページトップページへのバナー広告掲載。 ●日進東部地区企業団地開発の事業化に向け、廃棄物・土壌汚染調査や未相続等の課題土地の解決に向けた手続きを実施。 ●「愛知県産業立地セミナー2021 IN 東京」に参加。 ●調整池の上部利用や日進美化センターの跡地等（市所有地の有効活用）を関係課と検討。 ●市内に立地を希望する事業者へ用地情報を提供するため、宅建業協会東名支部と協定を締結し、「事業用地等マッチング事業」を創設。
7	市の財産を有効活用して外部からの収入を増やします。	インバウンドや観光も視野に入れ、経営トップ経験者ならではの「一手」で市の収入増にもご期待を。	●市街化区域内の普通財産について、払い下げ（東山）を1件実施。 ●普通財産（折戸町中ノ狭間）の払い下げを目的として、鑑定評価を行った。 ●令和2年度調査の成果やジブリパーク構想地域連携協議会での議論を踏まえながら、広域観光の実現化・商品化に活用可能なリソース整理し、施策を検討。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進政策

○高齢者も若者も輝くまちに福祉・教育を加速前進

通番	前進政策	内容	取組内容
			令和3年度
1		施設間格差は解消しよう！東部、南部福祉会館の建て替え検討に入ります。	●福祉会館6館全体の有効活用について、各館の特徴や地域性等を整理。
2		医療先端技術 「自宅で簡単がん検査」市民が気軽に利用できるようにしたい。	●集団がん検診については、平日に加え土曜日にも検診日を設定し、また、個別がん検診として複数の医療機関と契約し、受診しやすい体制を整えた。 ●がんを早期発見する重要性を啓発し、がん検診受診促進のため、啓発物品の設置、個別通知や勧奨通知を行った。 ●包括連携協定を結んでいる企業と連携し、がん検診を周知。
3		障がい者就労促進は 民間や大学とのタイアップ も。交渉を積極的に行います。	●尾張東部障がい者就業・生活支援センターと協力し、企業における障害者支援担当者交流会を開催。 ●大学連携委託事業及び市民自治活動推進補助事業における関係課からの事業提案とのマッチング募集をした。
4		経済的に困っている子どもに、必要なコトやモノがいきわたるまちへ。	●新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、低所得の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給。 ●新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯を支援する取組の一つとして、臨時特別給付金を支給。 ●ひとり親家庭等の中学生とその保護者を対象に、学力の向上等を目的とした学習支援及び生活や進学に関する相談ができる相談支援を実施。会場1か所と定員10名を拡充。 ●ひとり親家庭等の生活の向上のため、家計管理等に関する専門家による講習会を開催。 ●高等学校卒業程度認定支援給付金等の経済的支援制度について、ひとり親家庭世帯等へ周知。 ●寄贈型ふるさと納税について、3団体5種類で募集を開始したところ、全国22人の方から42件の寄附を受けた。
5		各地域の福祉会館も利用したシルバースクール充実を図ります。	●福祉会館でのシルバースクールの実施に向けて検討を行った。 ●フレイル（加齢により体や心のはたらきや、社会的なつながりが弱くなった状態）対策を目的とした教室の実施に向けて検討を行った。 ●いきいきシルバースクールについて、オンライン講座に対応するためzoom教室を4コマ実施し、オンライン活用講座を7コマ実施。
6		「転ばぬ先の手すり事業」公共施設に手すりを設置していきます。	●実施済み。
7		介護予防は 強い身体づくり 。幾つになってもトレーニングで筋肉は増えます。	●通所型サービスC型（運動器）7回を実施。 ●一般介護予防事業（にこにこ体操教室7回、きらきら体操教室20回、足腰おたっしや教室10回）、つどいの場で専門職による指導（7回）を実施。 ●介護予防サポーター研修を実施。 ●にっしん体操スポットの新規立ち上げ、継続支援及びにっしん体操講習会を実施。 ●老人クラブや地域サロンにおいて、高齢者を対象にした健康教育・相談事業を実施。
8		持続可能なまちづくりへ。日進市ESD推進基本方針をさらに積極的に前へ。	●コミュニティ公募提案型事業「にっしんESD事業」を始め、市民向けに企業と連携したESD講座、ESD普及啓発事業を実施。 ●本市が行っている事業がSDGsに資する事業であることを認識するため、各種事業とSDGsの17ゴールの紐づけを行った。
9		文化協会、レクリエーション協会、体育協会、スポーツクラブの更なる支援と財団化の検討。	●各団体に補助金を交付するとともに、活動支援を継続。 ●4Wプラン策定に伴う、今後の団体支援のあり方を研究。

～市長ビジョン等の取組状況～

10	学校吹奏楽も応援！市民ともっと身近に音楽を。日進を「音楽のまち」に。	●楽器寄附ふるさと納税を継続実施し、全国から6台の楽器寄附を受けた。 ●寄附された楽器の修繕を実施。 ●広く市民が音楽を身近に感じられるよう、市主催事業としてにしん音結祭を開催。 ●幼少期から音楽に触れる機会として、学校や保育園での出張演奏を実施。 ●7種類の打楽器がある市民会館を吹奏楽の練習や発表の拠点として利用するよう市民へ周知を行った。
11	何のために勉強？小中学生から『将来のコト』考えよう！ <u>キャリア教育日本一</u> へ。	●各教科や総合的な学習を通じて、自らの生き方を考える機会を設けた。 ●愛知県キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」（中学校）を実施。 ●キャリア教育の醸成や自己肯定感を高める取組として、子ども達が企画・運営する「こどものまち」を開催。 ●キャリア教育推進事業として紙コップでまちづくり、子ども編集部を実施。
12	小中学生はやっぱり勉強が大切。だから…ICT推進も含めて効率良く学べるようサポートします。	●タブレット端末の拡充及び利活用を行った。 ●市が保有するモバイルルータ使用時の通信費を負担。 ●休校等緊急事態に備えモバイルルータの運用を行い、平常時における利活用を行った。 ●中学校に指導者用タブレット端末を配備。 ●指導用デジタル教科書を購入。 ●子ども達の読書支援として、ふるさと納税を活用した書籍購入クラウドファンディングを実施し、1,200冊以上の書籍を購入。
13	いじめや不登校、虐待から徹底的に子どもを守りたい。（LINE相談も研究）	●日進市いじめ等に関する重大事態発生時調査委員会の所管事務を整理し、本市の状況を各委員と共有。 ●同委員会の開催頻度、委員の任期、委嘱の時期を検討。 ●スクールソーシャルワーカーを4中学校区に1人ずつ配置。 ●同人に対し、専門知識を有するスーパーバイザーによる研修指導等を実施。 ●市内在住の小学生、中学生を対象に、SNSを活用した相談が可能な施設のQRコードつき一覧を配布。 ●電話相談は306件、うち子どもからの相談は2件。 ●LINEを利用した相談窓口の開設に向け、先進地等の視察を行う等、調査・研究を実施。
14	先生の負担軽減を第一に、 <u>地域人材活用</u> で部活もやれる。少年野球などクラブチーム運営も手助け。	●部活動指導員として外部講師を活用。 ●香久山小学校でプールの授業を民間委託で実施。 ●日進市スポーツ推進協議会モデル事業として竹の山小学校の児童を対象に、バスケットボール等の基礎から始める「やってみよう教室」を開催。
15	テスト前、集中力が大切だね～図書館の早朝開館&時間延長の検討。	●新型コロナウイルス感染症の中で、新しい生活様式を踏まえ、利用制限を行いながら、学習する環境の確保に努めた。
16	“通学路 リュックの重さで 猫背です” 中学校の「置き勉」推進派。	●実施済み。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進政策

○活力も、財力もあるまちに元気に前進

通番	前進政策	内容	取組内容
			令和3年度
17	人口10万人へ。市街化区域拡大、土地利用できるように。資産価値も高めます。		●日進駅西地区の用途地域及び地区計画の決定に向けた検討を行った。 ●岩崎町の暫定用途地域解消のため、都市計画変更を行った。 ●赤池町・折戸町の暫定用途地域の解消に向けた地権者との書面による意見交換を実施。 ●赤池駅周辺の再開発に向けた手法を検討。
18	区画整理事業の新規立ち上げ・事業推進による都市基盤整備は、前進を止めない。		●日進駅西土地地区画整理事業において、補助金を交付するとともに、組合に対する指導監督を行った。 ●（仮称）日進北部土地地区画整理事業において、設計図の修正、事業フレームの精査等を実施。 ●（仮称）日進折戸鎌ヶ寿土地地区画整理事業において、関係機関との事前協議、地権者説明会、同意書収集、認可申請等について、発起人会に対する技術的支援を行い、組合設立認可を受けた。 ●日進赤池箕ノ手土地地区画整理事業において、補助金を交付するとともに、組合に対する指導監督を行った。 ●日進香久山西部土地地区画整理事業において、補助金を交付するとともに、組合に対する指導監督を行った。
19	“Mottainai!”市内一等地にある調整池→ 上部を土地活用 で歳入に繋げます。		●調整池上部利用希望の民間事業者の募集方法等を検討。
20	ふるさと納税？他市に負けとれん！叡智を集め、劣勢を返上したい！		●令和2年度から3.6倍に増加。 ●本市PRに向け、市事業の返礼品化（アグリスクール）を実施。 ●ふるさと納税の返礼品数を増加（200品目以上から約370品目）。 ●ポータルサイト数を15サイトに増加。 ●ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを3件実施。 ●新成人・転出者へ向けたふるさと納税PRのためチラシを配布。 ●楽器寄附、寄贈型ふるさと納税等、関係人口増加に向けた取組を実施。
21	日進初！ホテル誘致を目指します…便利に、同時に税収アップ。		●赤池駅周辺の再開発に向けた手法を検討。 ●駅周辺等候補地の有無、ビジネス・観光両面からの本市のホテル需要を研究。 ●宿泊施設の誘致に向けた優遇制度について研究。 ●（仮称）日進北部地区土地地区画整理事業において、ホテル誘致について検討。
22	新ビジネスを日進から。チャレンジする人を応援。 起業率、県No.1 を目指して。		●働く機会を得ることが難しい女性たちのチャレンジを支援するため、子育て世代を対象としたショートタイムテレワーク事業を試行的に実施。 ●日進市商工会等との共催により創業支援セミナーを開催。
23	産官学の連携・協力による全ての市事業を徹底見直しで市民サービス向上へ。		●公民連携のガイドライン策定を検討し、骨子を作成。 ●締結済みの連携協定に基づき、事業を実施。 ●提案型大学連携事業を募集し、提案のあった事業を市内で実施。 ●連携協力協定締結大学と、包括提携を結んでいる企業とのマッチングを行った。 ●にしん観光まちづくり協会に補助金を交付し、まちミル博覧会等を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

24	民間企業の誘致は市内商工業の活性化と同時に一税収増に導けるように。	●日進東部地区企業団地開発の事業化に向け、廃棄物・土壌汚染調査や未相続等の課題土地の解決に向けた手続きを実施。 ●「愛知県産業立地セミナー2021 I N 東京」に参加。 ●調整池の上部利用や日進美化センターの跡地等（市所有地の有効活用）を関係課と検討。 ●市内に立地を希望する事業者へ用地情報を提供するため、宅建業協会東名支部と協定を締結し、「事業用地等マッチング事業」を創設。
25	推進！ 6次産業 。日進産農畜産物の自給率・地産地消率アップを図ります。	●市内農産物の生産を増やすため、農業法人等による農地の集約を支援。 ●給食における市内農産物の使用を増やすため、農業法人等とのマッチングを行った。 ●6次産業化支援事業補助金を活用して、新商品の開発を支援。 ●ブランド化した、もち米「こはるもち」を和菓子屋とマッチングし商品化を支援。 ●市内農産物を使った6次産業商品や販売する店等を紹介するリーフレットを作成。 ●新たな農事組合法人の立上げを検討するとともに、営農用機械の導入や経理に関する補助を実施。 ●日進アグリスクール「6次産業体験コース」を実施し、6次産業化の体験、啓発を行った。 ●市内コンビニにおける地元農産物の直売事業のマッチングを行った。 ●民間事業者による農産物自動販売機の設置に向けて、実証実験を支援。 ●農業法人等と市内飲食店、惣菜製造事業者とのマッチングを行った。
26	日進スマートインターチェンジは地元とともに。 ネーミングライツ収入 も検討。	●用地調査等を実施。 ●中日本高速道路株式会社管理区間の詳細設計、日進市道の修正設計等を実施。 ●土地所有者を含む地域住民との個別調整を進め、事業の進捗を図った。 ●事業者向けの公民連携ガイドライン骨子内に、市の考え方、実績、担当窓口等を記載し、ネーミングライツ等の現在未実施の手法は内部向けの手引きとして整理。
27	スマート I C 周辺土地活用＝就労・観光促進・税収増の大チャンス！	●用地調査等を実施。 ●中日本高速道路株式会社管理区間の詳細設計、日進市道の修正設計等を実施。 ●土地所有者を含む地域住民との個別調整を進め、事業の進捗を図った。
28	「重点道の駅」で子育てや教育を。みんなハッピーになれる施設へ、計画の前進を止めない！	●地域振興施設等の用地取得に向け、事業認定の申請手続きを実施。 ●周辺道路等の整備工事を行った。 ●施設の設置管理に関する条例（案）の審査を実施。 ●指定管理者の選定に係る参考とするため、道の駅の運営に関するアンケート調査を実施。 ●パンフレットの作成、市広報やデジタルサイネージへの掲載等で P R を実施。 ●R F I を実施し、I C T、I o T、A I 等を活用した道の駅の管理運営について研究を行った。
29	公共施設の コンセッション （民間に施設の運営権付与、収入で整備）も研究。	●先進事例や研修等により、公共施設の管理・運営に関して効果的・効率的な手法について検討。
30	多彩な個人的人脈も活用！閉店店舗の跡地などに新ビジネス誘致を応援。	●日進市商工会等との共催により創業支援セミナーを開催。

～市長ビジョン等の取組状況～

31	われらがまちのために…国会議員・県議会議員とのパイプが重要→関係強化	●国会議員及び県議会議員への要望書を提出。全体図の追加を行い、より要望内容を適切に伝えられるよう、工夫。 ●防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、必要な予算・財源を確保することと事業執行を図るための弾力的な措置を講ずるよう、国に対し要望。 ●小人数学級の拡充を推進する中、普通教室不足に対応するための小規模改修費用について、補助制度の創設をはじめ、財政支援等を講ずるよう、国に対し要望。
32	広域連携、友好自治体との絆、ますます強化。＋自治体の新規友好提携へ前進。	●尾三地区自治体間連携会議において、尾三地区における大学連携等の新たな連携事業、継続検討事業について引き続き協議。 ●滞納整理機構の設立に向けて4団体で協定を締結し、体制を整備。 ●オンラインにより、友好自治体木祖村、志摩市との職員研修を実施。 ●広報にっしんで友好自治体木祖村の特集を組み、周知を図った。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進政策

○「住みやすいまち」から「住みたいまち」に前進

通番	前進政策	内容	取組内容
			令和3年度
33	市の条例・規則は「 <u>人間の尊厳</u> 」にあわせてスピーディーに見直し。		●法令改廃情報の関係各課への提供や電子会議による法規審査会の実施により、例規整備の迅速化を図った。 ●議案の審議がより円滑に行われるよう、提案理由及び主な改正点について、より詳細に記載することとした。
34	温かい地域のコミュニティづくり、市民活動、NPO活動を応援します。		●市内の全19区が行う地域自治組織の様々な活動やその拠点である公民館等の施設整備に対し、補助金を交付。 ●地域との情報共有を図り、支援体制を強化するため、区長会の開催や地域支援職員の配置、区・自治会加入促進事業などを実施。 ●新型コロナウイルス感染症の影響によりにっしんわいわいフェスティバルをホームページ及び紙面で開催。 ●市民自治活動推進補助金事業により、市民自治活動の中間支援を行った。 ●電子母子健康手帳機能を備えた子育て支援手帳「成長ログサービス」を活用して、子育て支援に関する情報を提供。
35	子育てファミリーに、ワーキングスペースの確保に、空き家の活用を。		●空家バンク等の補助メニューの活用を促すため、日進市有料広告掲載提案募集制度に基づく新規リーフレットを作成し、周知。
36	もっとオシャレなまちへ！オンリーワンの店舗大歓迎で出店誘致に努めます！		●県の「冷やし旅」キャンペーンを活用して、ブドウ直販農家でナイト観光プログラムを実施するなど、既存店舗に独自性を持たせ、魅力的な新事業を創出。
37	農のテーマパークを！天白川に「 <u>つりばし歩道橋</u> 」設置を市民と検討。		●「農のテーマパーク」に関連して、ブドウ農家によるブドウ畑でのイベント開催を支援。 ●観光牧場、イチゴ狩り園、民間市民農園、農家レストラン、芋掘りイベント等の事業PRを支援。
38	公有地を活用した「みどり豊かな都市公園整備」実現を目指します。		●魅力ある・特色ある公園化改修事業として、保育園児により作成された絵タイルを2園に設置。
39	市役所や天白川沿いで、オープンカフェや舟を使ったイベントを企画。		—
40	強いまちづくりに前進を止めない。まちづくり専門部署を創設します。		●第6次総合計画に基づき全庁的に推進を行っていくSDGsの推進及び潮流である脱炭素社会の形成について事務分掌を明確化。 ●業務内容が大幅に拡大しているふるさと納税事務について、ふるさと納税係を新設。 ●防災分野での連携強化を図るために、消防係を危機管理係に統合。
41	災害時要支援者対応の取り組みと地域防災・減災力強化を推進。		●避難所開設運営訓練を東小学校、東中学校の2校で実施。学区の地域住民とともにワークショップ等を行い、災害時要支援者支援について情報を共有し、避難ルートの確認や避難所における救護スペースを設置。避難所開設運営訓練の動画を、日進市youtubeチャンネルに掲載。 ●大規模災害の発生に備え、日進市災害対策本部設置訓練を実施。 ●民間木造住宅無料耐震診断の実施。耐震改修費補助金を交付。 ●ブロック塀等撤去費に対する補助金等を交付。 ●各種耐震関係補助金に関して、代理受領制度導入に向けて要綱整備。
42	東部丘陵地など日進の緑地・自然を守り育てたい。		●東部丘陵地西部地区の活用方針を検討。 ●東部丘陵地内の岩藤新池において、安全確保、快適性の向上を図るため堤体除草を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

43	日進の名物、自慢の品々の研究と創出、普及促進を図ります。	●6次産業化支援事業補助金を活用した新商品の開発等を支援。 ●健康、精力、アンチエイジング、美容等の視点からの特産品「黒ショウガ」の商品の開発、販売を支援。 ●ブランド化した「こはるもち」の販売を支援。 ●ブドウ農家と和菓子屋のコラボ商品の開発を支援。 ●農業法人が生産した「こはるもち」を和菓子屋とマッチングし商品化を支援。 ●都市部において豊かな農や食が体験できる、「日進アグリスクール」、「市内果樹のもぎ取り園」、「農家レストラン」等について、ふるさと納税返礼品に登録。 ●広報にっしんで、認定農業者等（6次産業化の取組等）や伝承料理のレシピを特集記事にて紹介。 ●広報にっしん(10月号及び12月号)で、果流純米吟醸夢吟香の告知。 ●朝市、伝承料理の講座の開催について支援。
44	L G B、トランスジェンダーの課題に取り組めます。	●リーフレット「性の多様性基本情報」を小学5年生に配布。 ●人権週間に合わせ図書館エントランスホールで展示を行った。 ●人権・男女共同参画情報コーナーに、啓発図書を配架。 ●性の多様性に関する職員研修を実施。 ●性の多様性に関するパンフレットを市内中学生に配布。 ●性の多様性に関するパンフレットを窓口で配布。
45	公共物を市民で清掃・塗装「 <u>民カリノベーション</u> 」ウォールアートもやってみよう。	●保育園トイレ改修工事で園児参加事業（工事内容を園児に解りやすく説明）として工事説明会を実施。 ●東小学校において、クラスごとに外壁の配色に対する人気投票を実施し、塗装を行った。 ●道路や河川など美しい景観を維持するために活動する団体を支援するため、日進市道路等愛護団体報奨金を3団体に交付。
46	利用者の利便性も考慮して常時接続を検討。公共施設のW i F i 化促進。	●本庁舎及び図書館等各施設に公開型W i F i の整備を行った。併せて庁内の職員用ネットワーク及び市議員用ネットワークのW i F i 化を行った。
47	施設の <u>芝生化</u> を進めよう～地域の皆様のご協力とご理解で。	●緑化推進に向けて、市民や事業者が行う優良な緑化事業へ経費の一部補助を行った。 ●公共施設における植樹・植栽等による緑化を実施。
48	日進駅周辺をもっと安全に、きれいに、気持ち良く利用したい！	●駅前維持管理業務委託により、適切な管理を行った。
49	市民の皆様の要望に応じながら下水道普及率100%に向け、前へ！	●重点アクションプランに基づき、赤池町始め3地内の污水管渠埋設工事を行った。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進政策

○サプライズ前進&能率アップ前進

通番	前進政策	内容	取組内容
			令和3年度
50	スポーツ新施設整備！新スポーツの普及、障がい者スポーツの促進と支援も。		●令和3年10月1日より、グラウンドゴルフ等の多様な用途に利用できる多目的芝生広場の使用を開始。 ●昨今の社会情勢や市民のニーズに対応した生涯学習推進に向けて「第5次日進市生涯学習4Wプラン」を策定。 ●東京2020パラリンピック採火聖火イベントとして、日進市の聖火「にっしん心の火」の採火及び式典を実施。
51	はっきよい！市内へ相撲部屋誘致（名古屋場所中）に向け「つっぱ（し）り」ます。		—
52	お困り事即解決「すぐやる課」経験豊かな再任用職員らと俊敏な対応組織実現。		●新型コロナウイルスワクチン接種に関する業務やマイナンバーカードの交付に関する業務について、全庁的な連携体制を構築し、職員一丸となり業務を行った。 ●市民協働課に地域支援員（再任用職員）を配置し、行政区や自治会の巡回支援を行った。 ●再任用職員の経験とノウハウを活用するため、庁内の主要部署へ配置。
53	AI・RPA（ロボットによる業務自動化）等の導入・近隣自治体連携の検討。		●AI-OCRの共同購入及びRPAの順次導入。
54	市内・庁内全てを歩きます。市役所の全ての課で短期の課長になります。		●新任課長補佐と係長職員対象の市長講話（日進塾）を実施。 ●市長が各課を積極的に巡回し、職員とのコミュニケーションを図るとともに、各部署の状況及び課題の把握を図った。 ●部ごとに市長と課長の情報交換の機会を設け、各部署の状況及び課題の把握を図った。
55	ほっとカフェ等、地域の集いの場に積極的に顔を出し市民の皆様と会話します。		●生活支援コーディネーターがつどいの場等へ出向き、会話を通じて地域とのつながりを強化した。日常生活圏域ごとの協議体を通じて地域課題の把握や解決に向けたアイデアを共有した。
56	市民にメリットがあるよう、名古屋市・豊田市とWIN WINになる積極的連携。		●名古屋市が主催する広域連携に関する研究会に参加し、広域連携に関する事項について検討。
57	市役所職員⇄民間企業社員の交換留学！市職員の潜在能力向上プロジェクト。		●実務経験者採用を実施し、知識・経験豊かな即戦力として土木技師1名、保育士1名を採用。 ●民間企業社員を招き市職員とのディスカッションを行い、企業から学ぶ場を設けた。
58	大学生が役所の仕事で経験値UP！アルバイト学生職員&学生消防団。		●将来保育士を目指す学生を会計年度任用職員として、保育園で採用。 ●AED一体型広告を活用し、消防団員募集、防災啓発を実施。 ●ESD庁内推進連絡会議における作業部会にて、女性を中心とした消防組織の設立について調査・研究を行った。
59	情報公開の促進+諸会議メンバーに一般市民により多く入っていただき増す。		●条例に基づく適正な情報開示の実施に加え、情報提供による情報開示を推進。 ●新型コロナウイルス感染症対策として、動画視聴による研修を実施。 ●情報公開請求に係るカラー複写費用負担を県内他市及び国における当該費用の額と比較検討し、1枚80円から20円に減額。 ●市民参加及び市民自治活動条例及び施行規則について庁内で研修を行った。 ●パブリックコメントの実施状況について、最新状況について取りまとめてホームページにて公開。

～市長ビジョン等の取組状況～

60	地方公務員は「 <u>知豊向夢員（ちほうこうむいん）</u> 」へ。さらなる市民目線のプロ集団で仕事に励む。	●各種専門研修の他、日進市職員としての知見を広げるため、日進塾を3回開催。
61	旅行規程の見直しで、職員・議員の研修・出張時の移動時間・負担縮減を。	●実施済み。
62	日進市のLINEサービスを開始！日進の情報を便利に活用できるようにします。	●実施済み。
63	議会での委員会説明職員の削減、市長又は副市長が全議会で委員会出席へ。	●実施済み。
64	ペーパーレス・ICT化、予算決算資料の充実、外部監査も推進。	●ペーパーレス会議システムの導入。庁内ネットワークの無線環境整備（会議室等）により、業務のペーパーレス化を推進。 ●課長級以上の自席PCを、持ち運びが可能なPCに入れ替え、無線環境と併せてペーパーレス化を推進。 ●令和2年度の自治行政の実績について、新型コロナウイルス対策予算を中事業単位で掲載する等、整理した。 ●各種会議を電子会議で行うことで、ペーパーレス化を推進。 ●決算書の電子データを公開。 ●支払い業務の効率化に向けて情報担当課と連携し、会計システムにおけるRPA等、調査・研究を実施。
65	環境・地球温暖化・ごみ問題への取り組みは企業・業界トップレベルを常に研究。	●次期環境基本計画（令和6年度から）の策定の基礎資料となる自然環境調査を実施。 ●にっしん省エネ倶楽部COOL CHOICE促進ネットワーク事業等を通じて、CO₂削減対策に向けて普及啓発を実施。 ●ゼロカーボンシティ宣言。 ●日進市一般廃棄物処理基本計画（令和3年度見直し版）を策定。